



「移転前の議事堂（昭和33年完成）で行われた最後の定例会」（平成26年9月9日 開会日）

主 な 内 容

- 2 頁 公共調達基本条例から
公共調達条例へ
- 3 頁 9月定例会を振り返って
会派の意見
- 4 頁 防災対策の強化に向けて
・市内全域への避難勧告
・合併地域の防災対策
- 5 頁 ・避難所開設の課題
・国土強靱化地域計画の策定
休憩室
- 6 頁 発達障害支援の充実を
議会移転のお知らせ
請願・陳情の結果
- 7 頁 委員会の活動
- 8 頁 意見書

⑨ 月定例会（第446回）を9月9日から26日までの18日間の会期で開催しました。

開会日には、市長が一般会計補正予算など29件の議案について提案理由説明を行いました。続いて財務部長、上下水道事業管理者が一般・特別会計と水道事業会計の決算認定議案の概要説明をそれぞれ行いました。

12日から18日までの4日間の個人質問には18人（うち8人が一問一答方式を選択）が立ち、8月の豪雨災害を踏まえた防災対策、高齢者・障害者福祉施策、教育行政、契約制度、公共交通対策などについて活発な質問戦を展開しました。

市長提出議案 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定議案など、29件の議案を全て原案のとおり可決または認定しました。

最終日には、監査委員、公平委員会委員の選任議案および人権擁護委員推薦についての諮問議案の3件が追加提案され、いずれも同意または異議なき旨答申しました。

議員提出議案 公共調達基本条例の一部改正議案を提出し、可決しました。

また、森林・林業基本計画の推進に係る意見書など17件の意見書議案を提出し、うち12件を可決しました。